

製品環境安全情報シート

(AIS : Article Information Sheet)

作成日：2026年4月1日

SDS (Safety Data Sheet : 安全データシート) は化学品の特性及び取り扱いに関する情報を提供するものです。弊社が譲渡または提供する下記の製品は、SDS交付義務の対象外となります。よって、SDSに相当する製品環境安全情報シート(AIS)にて、当該製品を取り扱う上で必要な情報を提供いたします。

1. 製品及び会社情報

| | |
|-------|---------------------|
| 製品名 | SlimFlex CH SERIES |
| 会社名 | 株式会社イノアックコーポレーション |
| 住所 | 愛知県知多郡武豊町字梨子ノ木9-117 |
| 電話番号 | 0569-74-1811 |
| FAX番号 | 0569-74-1812 |

2. 危険有害性の要約

当該製品は化学品ではなく、いかなるGHS分類基準にも該当しない。

3. 組成及び成分情報

| 一般名 | CAS RN | 成分 |
|------------|--------|----------|
| ポリウレタンフォーム | — | ポリウレタン樹脂 |

※ 本AIS作成時点において、ポリウレタンフォームの CAS RN 9009-54-5 は削除され、かつ他のCAS RN に置換されていません。CAS RN 9009-54-5 は、1987年に公表された 国際がん研究機関(IARC) : 発がん性評価 Vol.19 Sup 7 に掲載されていました。

4. 応急処置

| | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | 高温加熱による溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移る。咳や呼吸困難などの症状が出た場合には直ちに医師の手当てを受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | 常温では無害。溶融物が皮膚に付着した場合は、多量の水をかけて十分に冷却し、直ちに医師の手当てを受ける。 |
| 眼に入った場合 | 清浄な水で洗浄する。異物感が目に残るようであれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | 吐き出させる。異物感を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。 |

5. 火災時の措置

| | |
|--------------|--|
| 適切な消火剤 | 多量の水、粉末・炭酸ガス・泡消火剤等の一般消火剤。 |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし |
| 火災時の特有の危険有害性 | 火災中に熱分解し、刺激性又は毒性のガスを発生する可能性がある。 |
| 特有の消火方法 | 一般的な消火剤にて風上から消火するのが望ましい。 |
| 保護具及び予防措置 | 消火活動を行う場合には、消火用防毒マスクや防火服等状況に応じた保護具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 人体に対する注意事項 | 特になし |
| 保護具及び緊急時措置 | 特になし |
| 環境に対する注意事項 | 鳥類、魚類が摂取する恐れがあるので、河川及び海洋水域などに漏出させない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | すくい取り、または掃き集めて適切な容器に回収する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|--|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | 適切な保護具を着用する。 |
| 安全取扱注意事項 | 可燃材であるので、取扱い時には火気の接近を避けるとともに、過度の衝撃、積み重ねは避けること。 |
| 接触回避 | 特になし |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 直射日光、高温多湿、水濡れを避けて屋内に保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | 紙袋、段ボール箱等 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|------------|--|
| 設備対策 | 加熱溶融等ガスが発生する場合は局所排気を設置する。全ての作業において、換気を行うことが望ましい。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 必要に応じて、保護マスク着用が望ましい。 |
| 手の保護具 | 必要に応じて、保護手袋着用が望ましい。 |
| 眼、顔面の保護具 | 必要に応じて、保護眼鏡着用が望ましい。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて、安全帽、安全靴及び保護服着用が望ましい。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|------------|
| 物理状態 | 発泡体 |
| 臭い | 無視できる程度の臭い |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 該当しない |
| 可燃性 | 可燃性有り |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 該当しない |
| 動粘性率 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--------------------|
| 反応性 | 特になし |
| 化学的安定性 | 常温、常圧での取扱いにおいては安定。 |
| 危険有害反応可能性 | データなし |
| 避けるべき条件 | データなし |
| 混触危険物質 | 特になし |
| 危険有害な分解生成物 | データなし |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|-------|
| 急性毒性 | データなし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データなし |
| 誤えん有害性 | データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|-------|
| 生態毒性 | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壤中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(国、県、地方自治体の関係法令)」に則して、適切に処理する。

汚染容器及び包装

残余廃棄物と同様に処理する。

14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- ・包装が破れないように、衝撃・落下等の乱暴な取扱いを避ける。
- ・直射日光、高温多湿、水漏れ、過度の段積みを避けて荷崩れ防止を確実に行った上で輸送する。
- ・変形防止のため、上に重量物を載せ運搬、保管しない。

国内規制がある場合の規制情報

該当なし

15. 適用法令

適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

外国為替及び外国貿易管理法

輸出貿易管理令 別表第1第16項

消防法

指定可燃物(合成樹脂類)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

廃プラスチック類に該当

16. その他の情報

本AISは、作成時に入手できた資料や情報に基づき、作成しています。

記載のデータや評価に関して、品質を保証するものではありません。

なお、SDSに要求される記載項目とは完全に一致しない点について、ご了承願います。